

## 沖縄県産業廃棄物発生抑制・リサイクル等推進事業費補助金

## 応募・採択件数一覧

単位：件

	施設設備整備		研究開発		離島産廃適正処理		合計	
	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択
平成18年度	3	2	1	0	令和4年度 新設		4	2
平成19年度	4	2	4	0			8	2
平成20年度	2	1	2	1			4	2
平成21年度	0	0	2	1			2	1
平成22年度	1	0	2	1			3	1
平成23年度	2	2	1	1			3	3
平成24年度	5	3	1	1			6	4
平成25年度	3	2	0	0			3	2
平成26年度	1	1	0	0			1	1
平成27年度	3	3	0	0			3	3
平成28年度	1	1	0	0			1	1
平成29年度	4	3	1	0			5	3
平成30年度	2	0	0	0			2	0
平成31年度	1	1	1	1			2	2
令和2年度	4	2	1	0			5	2
令和3年度	1	1	0	0			1	1
令和4年度	0	0	1	0	2	1	3	1
令和5年度	4	1	1	0	1	0	6	1
令和6年度	1	1	0	0	1	1	2	2
令和7年度	1	1	0	0	0	0	1	1
<b>合計</b>	<b>43</b>	<b>27</b>	<b>18</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>65</b>	<b>35</b>

沖縄県産業廃棄物発生抑制・リサイクル等推進事業費補助金  
採択事業一覧

単位：千円

年度	区分	事業概要	事業者	補助額	(参考)事業費
H18	1	【油水分離層汚泥再生利用システム構築事業】 汚泥減容車でグリストラップから濃縮した汚泥を収集。収集された汚泥と既存の破碎施設で処理した木くずを混合し、堆肥発酵施設で発酵させ堆肥原料として堆肥工場等へ販売する事業。汚泥減容車及び堆肥発酵施設を整備。	(有)先島メンテナンス	9,494	20,301
	2	【廃ペットボトルのラベル減容品新固形燃料化(RPF)事業】 容器包装リサイクル法に基づき、廃ペットボトルをリサイクルする際、埋立処理されているラベル等を減容固化機により固形燃料(RPF)にして本土の製紙会社へ販売する事業。減容固化機を整備。	(株)沖縄計測	10,000	21,243
H19	3	【移動型廃蛍光灯再生利用システム構築事業】 主に県外で処理又は埋立処理されている廃蛍光管をアルミ・金属くず、ガラスくず等に破碎・分別して、リサイクル製品の原料として販売する事業。移動型廃蛍光灯リサイクルシステム車及び洗浄機を整備。	(有)沖縄クリーン工業	10,000	23,100
	4	【動植物性残さの適正処理によるリサイクル施設整備事業】 主として焼却処理されている食品製造業から排出される動植物性残さ(産廃)を発酵等の処理を行い、飼料として販売する事業。粉碎・脱水等の前処理機及び保管冷凍室を整備。	大境建設(株)	9,350	19,669
H20	5	【木くずリサイクル施設整備事業】 主に堆肥の水分調整材等により再利用されている木くずを、破碎、選別しボード原料やバイオマス発電燃料として販売する事業。原料としての品質を上げるため、破碎機や選別設備を整備。	(有)大武産業	10,000	21,187
	6	【泡盛酒粕を活用した農地土壌改良及び赤土流出対策事業】 産業廃棄物として排出されている泡盛酒粕を再利用するため、農地の土壌改良材として活用する技術の実用化に向けた確認・実証を行う。	(株)オオバ	1,695	3,390
H21	7	【廃発泡スチロールの再資源化開発事業】 コンクリート化粧型枠、海上ブイ・漂着ゴミなど付着物により処理することが困難である発泡スチロールを溶剤で溶融・分離回収しペレット化する。試験機の設計・制作、ペレット化までの実証を行う。	(株)日進	6,702	13,405
H22	8	【機械化学分解法によるアスベストの非加熱無害化・再資源化の開発】 廃アスベスト材の無害化とこれを再資源化する3R技術の開発を行う。県内の解体工事等で排出される廃アスベスト材の無害化並びに再資源化物の改質組成評価等を実施し、事業化に向けた計画等を策定する。	(株)南西環境研究所	1,920	3,844

年度		区分	事業概要	事業者	補助額	(参考) 事業費
H23	9	施設整備	【フライアッシュスラリー製造販売事業】 石炭灰を改質して安定化処理石炭スラリーを製造するための大型設備を建設し、スラリーコンクリートの製造・販売を行う。	(株)E-C O N	6,000	99,884
	10	施設整備	【移動型油脂汚泥再生利用システムの構築】 移動式油脂汚泥再生利用システムを導入し、汚泥の適正処理の推進及び回収した濃縮汚泥を再生利用することで最終処分量を減らすことができる。	(有)沖縄クリーン工業	6,000	18,109
	11	研究開発	【建設系産廃ガラスを用いたリサイクルシステムの構築】 建設系産廃ガラスからガラス以外の不純物(網等)を分離し、破碎するための装置を研究開発し、リサイクル製品の商品化をおこなう。	(株)トリム	3,990	7,981
H24	12	施設整備	【木くず処理による施設整備事業】 建設系廃材等の木くずを破碎し、木質燃料ペレットを製造・販売しているが、新たに1次破碎機を導入し、木くずを安定的に受入、処理を行う。	(株)バイオマス再資源化センター	10,000	55,600
	13	施設整備	【ガラスくず及び陶磁器くず類の破碎による再生砂製造販売】 解体工事等で排出されるガラスくず及び陶磁器くずを破碎処理し、再生砂として再製品化し、土木工事等で管の保護砂として利用する。	(株)久和建創	5,130	10,260
	14	施設整備	【木くずリサイクル施設高度化事業】 現在、廃木材等から木質チップを製造し、販売しているが、より高品質な木質チップを製造するため、ロータリースクリーン等の機械を導入。	(有)大武産業	2,400	9,760
	15	研究開発	【沖縄県産セラミックスを配合する低VOC型次世代塗料の開発】 廃瓦・溶鉱炉灰など沖縄県産セラミックを現在開発中の水性塗料と配合、暴露試験を実施し、低VOC型次世代塗料を開発する。	(有)沖縄建装工業	2,470	6,350
H25	16	施設整備	【石膏ボード分別機整備事業】 管理型最終処分場で最終処分することが必要な、建物解体工事等で排出される廃石膏ボードを「石膏」と「紙」に分別する「廃石膏ボード分別機」を導入。	街クリーン(株)	10,000	20,890
	17	施設整備	【木材破碎機導入事業】 緑化工事や伐採工事から排出された樹木、枝葉、草、根株のみを原料として、農業の堆肥の原料となる木材チップを製造するため、木材破碎機を導入。	(株)沖縄丸和	10,000	22,600
H26	18	施設整備	【芋焼酎の産業廃棄物抑制・飼料化事業】 泡盛、芋焼酎、ビール・発泡酒を製造する際に発生する「粕」について、固液分離装置を導入し、「粕」を「固体」と「液体」に分離し、分離した「固体」は畜産業者と共同で飼料化をめざし、「液体」は健康飲料として商品開発を行う。	ヘリオス酒造(株)	7,832.5	15,865

年度		区分	事業概要	事業者	補助額	(参考) 事業費
H27	19	施設整備	<p>【吸選機設置事業】</p> <p>建設廃棄物を路盤材へ再資源化するにあたり、現在は、コンクリートに混入している2～5センチ程度の廃プラ・発生木材・紙類を人力で取り除く作業を行っている。吸選機導入により、人力での作業量削減、路盤材への不純物の含有率低下及び生産量の増大を図る。</p>	大野産業(株)	4,350	8,700
	20	施設整備	<p>【建設汚泥リサイクルによる流動化改良土製造・販売】</p> <p>流動化改良土（建設汚泥を処理してできた改良土に、セメント・水を加えて混練することで、高い流動性を持たせた土粒子配合の安定処理土。締め固め機械による施工が困難な狭い空間などの、埋め戻し、裏込め、充填などに用いられる。）の製造に当たり、改良土をふるいにかける「振動振り機」と「ミキサー車への積込用のポンプ」を、レンタルして使用しているが、円滑な製造・出荷を行う為に自社機械として購入。</p>	福山商事(株)	3,025	6,050
	21	施設整備	<p>【高品質フライアッシュ（CfFA）製造用新型解砕・分級装置等導入事業】</p> <p>石炭火力発電所で石炭を燃焼させた際に生じる灰の一種であるフライアッシュを加熱改質し、コンクリート用混和材として使用する高品質フライアッシュ（CfFA）を製造している。また、さらに付加価値を高めるべく、分級装置により、CfFAを粒径毎にⅠ種（コンクリート補修材等に使用）・Ⅱ種（セメント代替等に使用）・Ⅳ種（細骨材代替等に使用）に分別している。しかし、最も高付加価値のⅠ種は、全体のうち2割程度の捕集率であり、製品製造歩留まりに限界があった。</p> <p>そのため、CfFAを細かく粉砕すると同時に粒径の大きな粗い粒子のみ（全体の1割程度）分離除去し、残りの粒子（全体の9割程度）をⅠ種相当に分級する「新型の分級装置」等を導入。</p>	(株)ゼロテクノ沖縄	7,670	15,341
H28	22	施設整備	<p>【木質系廃棄物リサイクル施設整備事業】</p> <p>木質系産業廃棄物を排出事業者及び産業廃棄物業者から有償で受け入れておが粉を製造し、畜産汚泥を堆肥化処理する堆肥製造業者等に販売している。県内堆肥製造業者との取引が増え、離島からの発注もあるなど需要に供給が追いつかない状況にある。既存の破碎機が老朽化により故障等のトラブルが多くなっておが粉の安定供給に支障が出ているため、破碎機を更新し、おが粉の増産・安定供給を図る。</p>	(有)沖縄クリーン工業	10,000	61,000
H29	23	施設整備	<p>【木くずの破碎リサイクル施設整備事業】</p> <p>沖縄県内一円の排出現場から発生する産業廃棄物の木くずを破碎処理し、化石燃料（石炭）の代替燃料として、セメントの焼成材に利用する。これにより、再利用できなかった木くずも、焼却や埋め立て処理だけでなく別のエネルギーとしてサーマルリサイクルを行い、循環型社会構築の一助とする。</p>	(株)オキセイ産業	7,500	38,651
	24	施設整備	<p>【廃石膏ボード処理による施設整備事業】</p> <p>廃石膏ボードを受入し、紙と石膏に分離し紙は焼却施設、石膏の粉を振り選別し琉球セメントへ原料として搬出、自社で再生骨材3%混で販売。</p>	(有)とみしろ建材	7,500	38,219
	25	施設整備	<p>【食品リサイクル受託農業】</p> <p>食品残さを発酵堆肥化して環境負荷を軽減し、その肥料で循環型野菜を生産する。収集し処分する食品残さは100%発酵堆肥化として利用する。</p>	農業生産法人有限会社あらぐさ	3,000	7,996

年度	区分	事業概要	事業者	補助額	(参考) 事業費
H30		※応募2件。選定委員会における審査の結果、不採択。			
H31	26	<b>【建設発生木材の破砕リサイクル施設整備事業】</b> 県内で発生する建設発生木材の、効率的・迅速な適正処理を推進するため、新たに低排出環境型移動式破砕機を設置し、畜産・農業で再生利用できるよう30mm以下の木材チップ材へ転換する。	A-CREATE 沖縄(株)	10,000	36,938
	27	<b>【小型メタン発酵槽の開発】</b> 県内で発生する有機系産業廃棄物の一つである泡盛蒸留粕を利用して、県内の泡盛プラントの環境に合わせた小型メタン発酵槽を開発する。	沖縄オートメーション(株)	876	2,000
R2	28	<b>【使用済み自動車由来の樹脂部品の製品品質向上に関わる設備導入】</b> 自動車由来のプラスチックをマテリアルリサイクルし製品化する再生樹脂の品質向上のため、パテ材の比重選別機を導入。	拓南商事(株)	6,000	14,330
	29	<b>【生コンスラッジ及び建設発生土リサイクル施設整備事業】</b> 県内で発生する生コンスラッジ及び建設発生土砂をリサイクル土として販売するにあたって製品の品質を安定化するため、自走式ジョークラッシャを導入。	(有)沖縄クリーン工業	4,000	48,620
R3	30	<b>【廃車由来の廃棄物から再生樹脂の製造を目的とした設備導入事業】</b> A S Rの再資源化施設にバリオセパレータ及び金属探知機を導入し、プレス加工された使用済み自動車の樹脂部品等を回収し、再生樹脂原料として製造を行う。	拓南商事(株)	10,000	128,000
R4	31	<b>【小型焼却炉購入事業】</b> (宮古島) 宮古島市内の既設の焼却炉が塩害や台風被害等により老朽化しており修繕のため搬入・処理を止める状況があることから、買い替えを行い、安定的に島内処理を行えるようにする。	(有)環境クリーン開発	10,000	15,000
R5	32	<b>【エメラルドグリーン・コーポレーション新設廃石膏ボードリサイクル施設】</b> (石垣島) 新たに廃石膏ボード分離機、集塵機及び建屋を設置することで廃石膏ボードを石膏粉と紙へ分離し、石膏粉を再生路盤材の添加剤としてリサイクルする。	(有)エメラルドグリーン・コーポレーション	10,000	20,328
R6	33	<b>【廃プラスチック専用破砕機導入事業】</b> (宮古島) 島内で逼迫している廃プラスチック類の処理について、処理の円滑化・効率化を図るため新たな破砕設備を導入。	(有)松島開発	7,500	22,000
	34	<b>【豆腐製造時排出される廃棄物「おから」を利用した猫砂製造販売事業】</b> これまで産業廃棄物として処理されていたおからを活用して猫砂を製造することにより、産業廃棄物削減に取り組む。 また、生産された猫砂を県内で販売することにより、地産地消活動にも取り組む。	①(株)まえさと ②金秀商事(株) ③アース・ペット(株)	2,345	363,082
R7	35	<b>【廃塩ビ管のマテリアルリサイクル事業】</b> 県内で発生する廃塩ビ管のマテリアルリサイクルのため、従来は県外で処理していた破砕・粉碎工程を自社で実施できるよう塩ビ管破砕機を導入する。	(有)昭和興業	5,250	10,550

※令和4年度に、事業区分「離島産廃適正処理推進事業」を新設。

※令和4年度から、離島で補助事業を行う場合の補助率を2/3としている。

※平成30年度に「沖縄県産業廃棄物排出抑制・リサイクル等推進事業費補助金」から事業改名。